

大島商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	海事実務
科目基礎情報						
科目番号	0085		科目区分		専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科	商船学科		対象学年		3	
開設期	通年		週時間数		2	
教科書/教材	実験実習指導書／大島丸実習ノート／配布資料					
担当教員	木村 安宏,久保田 崇,前畑 航平,森脇 千春,千葉 元,村田 光明,浦田 数馬,山口 伸弥,村田 光明					
到達目標						
1. 船舶航海士として必要な基礎知識・技術を習得し、船内機器の運転や保守管理に活用できる。 2. 各種航海計器の基本原理と操作方法を理解し、実験・実習を遂行できる。 3. 海事実務の内容を理解し、レポートにまとめることができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	船舶航海士として必要な基礎知識・技術を習得し、船内機器の運転や保守管理に活用できる。		船舶航海士として必要な基礎知識・技術を習得しできる。		船舶航海士として必要な基礎知識・技術を習得しできない。	
評価項目2	各種航海計器の基本原理と操作方法を理解し、実験・実習を遂行できる。		各種航海計器の基本原理と操作方法を理解できる。		各種航海計器の基本原理と操作方法を理解できない。	
評価項目3	海事実務の内容を理解し、まとめとレポート作成ができる。		海事実務の内容を理解し、まとめの項目立てができる。		海事実務についてのまとめ・レポート作成ができない。	
学科の到達目標項目との関係						
本校 (1)-b 商船 (2)-a						
教育方法等						
概要	海事実務は技能および技術を習得するとともに、技術者として望ましい態度や習慣を身に付ける。					
授業の進め方・方法	実習及び演習を主体とする。 相互評価に「実技」等を含める。 ポートフォリオに「課題」「レポート」等を含む。					
注意点	必要に応じて、実験実習指導書、大島丸実習ノート、配布資料、関数電卓を持参すること。 安全について十分に配慮すること。作業服、安全靴、帽子を着用してくること。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	航海計器(1)		ジャイロコンパスの構造，作動が理解できる。	
		2週	航海計器(2)		オートパイロットの構造，作動が理解できる。	
		3週	航海計器準備		船橋航海計器の始動，操作準備ができる。	
		4週	船舶整備		係船設備，信号設備の取扱いおよび整備ができる。	
		5週	無線通信		無線資格の種類、取得方法について理解できる。	
		6週	BRM訓練（１）		シミュレーション航海において，船橋内外のリソースを有効活用して安全な航海を遂行することができる。	
		7週	BRM訓練（２）		シミュレーション航海において，船橋内外のリソースを有効活用して安全な航海を遂行することができる。	
		8週	レポート作成			
	2ndQ	9週	BRM訓練（３）		シミュレーション航海において，船橋内外のリソースを有効活用して安全な航海を遂行することができる。	
		10週	電子海図		ECDISを用いた航海の計画，監視，評価を行うことができる。	
		11週	小型船操船		小型船の離着岸作業をチームとして遂行することができる。	
		12週	甲板機器取扱い		油圧クレーンその他の設備を用いて，重量物の運搬を適切に行うことができる。	
		13週	救命講習		救命艇の降下および収容ができる。	
		14週	救命設備		船内の救命設備の概要，使用方法が理解できる。	
		15週	消防設備		船内の消防設備の概要，使用方法が理解できる。	
		16週				
後期	3rdQ	1週	航海系講習Ⅰ（１）		航海系講習に関わる内容について、理解および実践できる。	
		2週	航海系講習Ⅰ（２）		航海系講習に関わる内容について、理解および実践できる。	
		3週	航海系講習Ⅰ（３）		航海系講習に関わる内容について、理解および実践できる。	
		4週	航海系講習Ⅰ（４）		航海系講習に関わる内容について、理解および実践できる。	
		5週	航海系講習Ⅰ（５）		航海系講習に関わる内容について、理解および実践できる。	
		6週	航海系講習Ⅰ（６）		航海系講習に関わる内容について、理解および実践できる。	
		7週	航海系講習Ⅰ（７）		航海系講習に関わる内容について、理解および実践できる。	
		8週	レポート作成			

	4thQ	9週	航海系講習Ⅱ（１）	航海系講習に関わる内容について、理解および実践できる。
		10週	航海系講習Ⅱ（２）	航海系講習に関わる内容について、理解および実践できる。
		11週	航海系講習Ⅱ（３）	航海系講習に関わる内容について、理解および実践できる。
		12週	航海系講習Ⅱ（４）	航海系講習に関わる内容について、理解および実践できる。
		13週	航海系講習Ⅱ（５）	航海系講習に関わる内容について、理解および実践できる。
		14週	航海系講習Ⅱ（６）	航海系講習に関わる内容について、理解および実践できる。
		15週	航海系講習Ⅱ（７）	航海系講習に関わる内容について、理解および実践できる。
		16週		

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	70	10	20	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	70	10	20	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0